2018年8月号

大平
梅野　早希（さき）さんの巻
長男　廉人（れんと）くん４歳
長女　鈴（すず）ちゃん　１歳

梅野家は４歳の息子と１歳７ヶ月の娘がいます。
息子はとてもパワフルで、物怖じしないひょうきん者です。
両家の初孫という事もあり、産まれてくるのを家族中がとても心待ちにしてくれていて、お腹にいる息子に早くこの景色を見せたい、安心して出ておいで、と思っていたのを覚えています。
産まれてからは、初めての育児に苦戦する日々でした。布団に寝かせた瞬間泣いて起きる事や、自分の時間ができたと一息ついた途端に泣き出し、思い通りにならない事の連続でした。しかし、大変な事も月日が経つとほとんどの事を忘れています。「大変な事は忘れていくようにできてる、そうじゃないと子育てなんてできない。」と母の言う通りでした。
娘が産まれた時、自分の中で息子にはまだまだ甘えさせてあげようと決めていました。でも実際には我慢させてしまうことが多く、怒ってしまっては反省する毎日でした。

娘は生後 40 日の時に、２週間ほど入院しました。家族４人で迎える初めてのお正月を娘と病室で過ごし、家族皆が元気に過ごせる事の幸せを痛感しました。
そんな娘も今では身体の強い、好奇心旺盛な女の子です。兄妹喧嘩は絶えませんが、二人で遊ぶ時間も増えてきました。お兄ちゃんの機嫌を伺い、怒られそうになるとどうぞ、と渡したり、息子も妹の事を可愛がる姿が見られるようになりました。息子は主人の影響でレスリングを始め、１番になりたい！が口癖です。いろんな事を学んで、楽しんでくれたらいいなと思います。主人は家を空ける事が多くありますが、子どもと対等の目線で全力で遊んでくれるので、二人ともパパが大好きです。
お互いの実家が近いこともあり、日々たくさん協力してもらい、とても幸せな環境です。
そして子どもたちのお陰で出会いの場が広がり、たくさんの出会いをくれる事に感謝しています。
周りから大変だね、と言われる事もありますが、大変だけど楽しい！と胸を張って言える母親でいたいと思います。